

広報



やまこし

2001
10月
第399号

実りの秋



小学校・稲刈り

- 今月の内容
- ☆日本景観学会・現地研修会 2P
 - ☆夢集め・村づくり会議 3P
 - ☆敬老会 3P
 - ☆第四次総合計画 4P～5P
 - ☆スナップショット 6P
 - ☆お知らせ 8P～9P

国重要無形民俗文化財指定

泳ぐ宝石

「牛の角突き」と「錦鯉発祥の地」

山古志村ホームページ <http://www.vill.yamakoshi.niigata.jp/>
Eメール info@vill.yamakoshi.niigata.jp



広報やまこし

2001
10月
第399号

●発行/山古志村役場

〒947-0204 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙四六一

電話(0258)591-1110
FAX(0258)591-2031

●編集/総務課 ●印刷/大川印刷株式会社

10月村民カレンダー

あまやち
会館宿泊
予約状況

1(月)		
2(火)	・年金定例相談日 村民相談室 ・心配ごと相談 午後1:00～4:00なごみ苑 ・配色サービス 資源ごみ(ペットボトル)	
3(水)	・全血献血 午前10:00～12:00村民会館 午後1:30～3:00JA越後ながおか山古志支店 ・ポリオ 午後2:00～2:10山古志村診療所	×
4(木)	・ポリオ 午後2:00～2:05種芋原診療所	
5(金)		
6(土)		
7(日)		×
8(月)	体育の日 ・牛の角突き(虫亀会場)	
9(火)	・胸部レントゲン検診村内巡回 ・心配ごと相談 午後1:00～4:00なごみ苑 資源ごみ(容器包装プラスチック類)	
10(水)	・胸部レントゲン検診 村内巡回	
11(木)		
12(金)		
13(土)	・青空ほうけん塾 午前9:00村民体育館	×
14(日)		×
15(月)		
16(火)	・幼児歯科検診 種芋原保育所 ・心配ごと相談 午後1:00～4:00なごみ苑 ・配色サービス 埋立ごみ(埋立プラスチック類)	
17(水)	・合同相談 午前9:00～11:30村民会館	
18(木)	・銀婚式講座開講式 午後7:30～村民体育館	
19(金)	・幼児歯科検診 竹沢保育所	×
20(土)		×
21(日)	・小・中学校文化祭 音楽交歓会	
22(月)		
23(火)	・心配ごと相談 午後1:00～4:00なごみ苑 資源ごみ(容器包装プラスチック類)	
24(水)		
25(木)	・銀婚式講座 午後7:30～村民体育館 ・すくすくチャイルドの会 埋立ごみ(金属・ガラス陶器類・不燃粗大)	
26(金)		
27(土)		×
28(日)		
29(月)		
30(火)	・健康体操と民謡の集い 午後1:30～村民体育館	
31(水)	・心配ごと相談 午後1:00～4:00なごみ苑 ・混成バレーボール大会	

あまやち会館宿泊予約状況(9月22日現在) 毎週火曜定休日
×満員です △早めに予約を 空欄は利用できます。

はなごころアイドル

しゅん いち
隼 一ちゃん



平成10年10月22日生まれ 一桂 谷一
高野 勇・美香子さん

パワーショベル、ダンブ、バス、働く車が大好き。「大きくなったら運転手になる。」と毎日車で遊んでいます。イタズラは超一級品。椅子の上にさらにふみ台をのせて、とどくはずのない物までとってはママにしかられていています。



献血にご協力下さい

◎期日 十月三日(水)

◎会場・時間

山古志村民会館

午前10時から正午まで

越後ながおか農協山古志支店

(種芋原)

午後一時三十分から三時まで

皆さんのご協力をお願いします。

人口の動き
(13.7.31現在)

■人口2,363人(-4) 男1,180・女1,183 ■世帯数700(±0)
■8月中のうごき □出生0人 □死亡5人 □転入3人 転出2人

日本景観学会・第一回現地研修会開催

日本景観学会（会長・黒川紀章さん）の第一回目の現地研修会が八月三十一日（金）・九月一日（土）の二日間の日程で開催された。

一日目は村民体育館を会場に、三人による基調講演等が行われました。

まず、最初に長島忠美村長より「栄えある第一回の現地研修会の会場として、山古志村にも景観学会にも意義のある現地研修会にしていきたい。」と、開会の挨拶をしました。

そして、景観学会専務理事の明治大学教授、藤沢和さんよりこれまでの学会設立や今回の現地研修会までの経緯など、エピソードを交えながら報告がされました。

基調講演では、三人の講師の方から講演をいただきました。



日本建設情報総合センター理事の今岡亮司さんは、山古志村



の棚田の意義

前村長の酒井省吾さんは、牛を家族の一員として飼育し、牛とともに角突きを楽しんでいることや、引き分けを原則とする角突きの心は、二十村郷の人々の平和の心の表している。それから食用として飼育していた真鯉から突然変異で生まれた鯉を改良に改良を重ねて、現在では「錦鯉」と呼ばれるものにしていったこと、「紅白」「三色」などの名前が、世界の共通語になっていることなど、先人達の努力があったことを語っていた。そして、錦鯉や牛の角突きを育てた風土、人々の心が、これからの都市と農村の共存のためには大切なのではないかと、講演をいただきました。

には、人が通る隧道以外にも、いろいろな目的を持った隧道があり、暮らしのためにこれを使ってきた。なぜ、山古志の人に掘れたかを考えると、その暮らし方が掘る決断とそれを継続させた。山古志の牛の角突きや錦鯉は将来の価値が確定していないが、それにかけて生活することができ、自分の責任において毎日真剣に作り出すことができる村の人には限りない魅力がある。中山隧道は自分を試す格好の場所であり、自分を蘇らせることができる穴だと、熱心に話していただきました。

そして最後に、今まで掘られた村中の穴の長さは軽く一万mはあると思う。長岡の米百表が話題になっているが、私は山古志の「穴一萬m」を提唱したいと、講演してくださいました。

東京農工大学教授の千賀裕太郎さんは、人間と自然が共生している田園風景の美しさには、いろいろな要素がある。生活から生み出された伝統などの文化的な面と、人々が助け合って暮らしている風土などが景観に出てくるものだ。生活が楽になったのに、長い歴史の中で生き



残ってきた農村がどんどん消滅していく今の事態は、異常としか言えない。

これもでの農村は、生産を基本とし、そこで出来た物を都市で売って収入を得ていた。しかし、最近では都市の人が農村に来ている。都市で売らなくても、農村で売ることができるようになってきた。

つまり、人を呼ぶために何か大きな建物を作ったりするのはなく、美しい景観を残し、その魅力を最大限に生かしていけば人も訪れ、食事もあるし、物も買う。結果的に経済的にも潤うようになってくる。このような「グリーンツーリズム」の考え方が、地域住民に理解できれば持続的に農村の価値を提供できると、講演をしてくださいました。

夜は、会場を移して情報交換会が行われ、会場のあちらこちらで、熱い会話が交わされていた。



鹿児島県から参加した人は、「棚田が草刈り等整備しており、とても美しく見えた。地域の人々が本場に田んぼを、山を大事にしているんですね。」と、言っていて感心していました。

なお、次回の現地研修会は、埼玉県で行われる予定です。

夢集め・村づくり会議 活動開始

九月七日（金）「第一回夢集め・村づくり会議」が開催されました。

当日は、今後の村づくりについて、主旨をご理解いただき大勢の方から参加協力を得ることが出来ました。今後の村づくりについて非常に心強く思うとともに深く感謝いたします。

なお、当日各委員会の正副委員長が決定しましたのでお知らせします。

- 若者が住む村づくり委員会
 委員長 関 正史
 副委員長 川上 巖
 担当 建設課・議会事務局
 産業・観光・交流の村づくり委員会
 委員長 田中 仁
 副委員長 斎藤登美夫
 川上久美子
 担当 産業課
 長寿の村づくり委員会
 委員長 星野由太郎
 副委員長 佐藤 幸男
 担当 村民課・保健福祉課
 若人夢語り・夢づくり委員会
 委員長 星野 健介
 副委員長 松田 雅義
 担当 教育委員会

今年も各地区ごとの敬老会

九月十五日（祝）・十六日（日）の両日に敬老会が行われました。対象者は（七五歳以上）四二二名（男性一六四名・女性二四八名）で、この中から二二四の方が元気な姿で出席されました。

今年も、今までの全村で行うのではなく、各地区ごとに分かれての開催となりました。

各地区ごとの開催ということ、各会場とも和気藹々の雰囲気の中、参加された方々も楽しんでいました。

どの会場も、カラオケなどで大変盛り上がりました。また、十六日にあまやち会館で行われた三ヶ・東竹沢地区の敬老会では、アトラクションとして、長



岡市の「演舞会」の皆さんがボランティアで歌や踊りを披露してくださいました。

村内最高年齢者は、川上キシさん（二〇五歳・竹沢）で、次に佐藤タケさん（虫亀）長島トシさん（虫亀）が九八歳で続きます。

米寿を迎えられた方

- 山井 マス （種芋原）
 佐藤 広二 （虫亀）
 佐藤 シズ
 五十嵐ヨト
 五十嵐ヒデ
 五十嵐シヨ
 高野 シゲ （桂谷）
 五十嵐イチ （梶金）
 佐藤 米三
 五十嵐民治 （木籠）

金婚を迎えられた方

- 川上宅右工門・ヨシ（種芋原）
 坂牧 名一・タツ
 景山 惣一・ハル
 今井 義夫・みね
 坂牧 一二・イト
 坂牧 駒夫・シズ
 小幡 国作・キヨ
 長島 源佐・トシエ（虫亀）
 石原 武・トシ
 星野 敏雄・ハルエ（山中）
 広井 留作・光枝（桂谷）
 小池 忠・ミワ

※九月十五日現在で掲載し、敬称は略させていただきます。

また、これに先駆けて川上キシさん（二〇五歳・竹沢）に村長からお祝いの品が渡されました。



村長は「体に気をつけて、ぜひとも新潟県一の長生きをして下さい。」と声を掛け、お祝いしました。

第四次総合計画

今月号は、「第二章・基本計画」の続きと「第二章・生活環境整備」です。

第五節 水資源

〔現況と課題〕

本村は豪雪地でありながら水資源に乏しく農業用水等は、わずかながら地下水、表流水に頼っている状況で、産業振興に大きく制約を受けている。

飲料水については、現在一部地域において簡易水道が供用されているが、長岡市からの分水により、全村に簡易水道の整備を進めており、平成十六年通水を目指している。しかし、今後も生活排水処理、農業整備による水需要の増加は予想され、引き続き水資源の確保を図らなければならない。

〔基本方針〕

- ① 水資源涵養林の保全を図る。
 - ② ため池の改良、整備を行う。
- 〔基本計画〕
- ① 農業用水については、引き続き水源の確保に努めるとともに、周辺森林の整備、ため池等による保水力の増加を図る。

第六節 治山・治水

〔現況と課題〕

本村には、地すべり防止区域が十一箇所あるほか、砂防指定河川などの自然災害の危険箇所が多く散在している。このため毎年のように災害が繰り返され、今後も災害の発生する危険性は大きい。

年々その整備は進められてきているものの、住民の生命・財産を守り、生活の安定を図るには治山・治水事業の一層の整備、促進を図らなければならない。

〔基本方針〕

- ① 災害発生危険地域の洗い出しを進め、地域指定等により国庫の事業導入を図る。
 - ② 事業の施行に当たっては地域住民の要望を尊重するとともに、自然環境保護を図り、防災施設の有効利用と維持管理に努める。
- 〔基本計画〕
- ① 地すべり防止事業は地権者に合意のうえ地域指定を行い、国庫事業の導入を図る。
 - ② なだれ防止事業は保安林指定による防雪工事を推進する。
 - ③ 砂防事業の促進と河川については護岸施設等の整備を図る。
 - ④ 災害復旧事業については迅速に対応する。

第二章・生活環境整備

第一節 住宅

〔現況と課題〕

本村は従来から自己の住宅を持ち住宅事情は良好である。しかしながら、最近の人口動向でも、人口の減少は続いており、核家族化や高齢者世帯の増加により、冬期間の屋根雪処理に対する負担も大きくなっている。

昭和六十三年以降克雪住宅建設に対する貸付金制度や補助金交付により、雪に負けない住宅環境づくりの普及を図ってきた。

今後、定住を促進するには、住宅の克雪対策と生活雑排水処理施設の整備が必要である。転出家屋については村外からの定住希望者もあり、又別荘としての購入申込みもあつて今後有効活用し、人口増加への対策を講ずる必要がある。

〔基本方針〕

- ① 克雪・生活排水処理施設等の整備の促進を図る。
 - ② 高齢者・障害者が安心して居住できるバリアフリー住宅を推進する。
- 〔基本計画〕
- ① 冬期間も安心して生活できる克雪住宅の普及を図る。
 - ② 高齢者等多目的集会所施設の整備を推進する。

- ③ 生活排水処理施設整備を促進する。

第二節 公園・緑地

〔現況と課題〕

本村は、萱峠から金倉山にかけて長岡東山本山山県立自然公園に指定されており、棚田や点在する集落など全域が自然と共生する公園・緑地の面影がある。しかし、荒廃地の増加など急速に景観が損なわれつつあり、豊かな自然を生かした景観づくりが必要になっている。

〔基本方針〕

- ① 棚田や棚池、遊歩道等の整備により、ゆったりくつろげる公園・緑地としての機能を果たし、訪れる人の憩いの場、レクリエーションの場としての環境を提供する。このため自然の山野を利用し、施設配置など農村公園としての整備を推進する。また、手掘り隧道を中心とした文化圏の構築により、歴史・生活を取り込んだ景観づくりに努める。
- 〔基本計画〕
- ① 個性あふれる景観である棚田・棚池の保全と恵まれた環境・自然の保護に努める。
 - ② 多くの村民が親しみ、村内外を問わず、ふれあいの場としての公園、手掘り隧道文化圏の整備により、公園化を図る。

第三節 水道

〔現況と課題〕

本村の水道は、平成七年度に虫亀地区簡易水道が給水開始したことにより、水道普及率は二二、六%となっている。しかし、他の地区では依然として湧き水や井戸水等を利用している。

このような状況の中から、平成十年度において、長岡市の公共水道からの分水が認められたことにより、平成十一年度から虫亀地区を除く全域を対象に簡易水道整備事業を進め、平成十六年度通水開始を目指している。

〔基本方針〕

- ① 簡易水道の整備を促進し、公衆衛生の向上と生活環境の改善により住民生活の安定向上に努める。
- 〔基本計画〕
- ① 簡易水道の整備を促進する。
 - ② 地震等災害時対策の確立。
- 二、下水道
- 〔現況と課題〕
- ① 下水道は、健康で快適な環境を整備するには欠くことのできない公共施設であるとともに、河川等公共用水域の水質保全の

ための基本的な施設である。

しかし、本村においては傾斜地の中に集落が点在しており非常に難しい状況にあり、現在合併処理浄化槽整備を進めている。なお、今後の簡易水道整備事業と併せて施設を整備し、よりよい生活環境をつくる必要がある。

〔基本方針〕

- ① 合併処理浄化槽を整備し、快適な生活環境と自然環境の確保に努める。
- ② 浄化槽の維持管理を啓発指導し、水質汚濁等防止を図る。
- ③ 合併処理浄化槽の普及を図る。

第四節 環境衛生

一、ごみ処理

〔現況と課題〕

廃棄物の処理は、小千谷地域広域事務組合に加入し、し尿及びごみの共同処理を行っている。家庭から排出されるごみについては、ごみの減量に向けた様々な取組を実施しているが、わずかながら増加の傾向である。

しかし、生活様式の多様化等により排出されるごみは多岐にわたり、また、依然として廃棄物処理をめぐる状況は厳しいと

ころである。適正な処理とそれに伴う生活環境への負担軽減のためには、より一層のごみの減量とリサイクルの推進が緊急の課題である。

① ごみの排出抑制・再利用による減量やリサイクルの推進を図る。

〔基本方針〕

- ① 減量体制の促進
- ・ 分別収集によるリサイクル体制の確立。
- ・ 産業廃棄物については、事業者において処理するよう指導を強化する。
- ・ 生ごみ処理機の助成。
- ② 広域事務組合による適正処理。
- ③ 美化運動の推進
- ・ 道路沿いのごみ等の回収。
- ・ 不法投棄防止パトロールの実施。

二、生活排水

〔現況と課題〕

し尿の収集業務は許可業者が行い、処理業務については広域事務組合の処理施設で処理している。収集量については浄化槽が増加しているが、自家処理も

まだ多い状況である。また、生活排水処理については整備が遅れ、一級河川の和田川・芋川・朝日川へ未処理のまま放流され、河川の水質汚濁が進行しているものと推測される。村では、平成八年度に生活排水処理基本計画を作成し、翌九年度より特定地域生活排水処理事業で年間二十基・十年間二百基の合併処理浄化槽を設置し、生活排水処理率六〇%水洗化率七八%の目標率を設定し取り組んでいる。また、簡易水道事業により平成十六年度以降合併処理浄化槽の普及がすすむものと考えられる。このようなことから、し尿・生活排水を適正に処理することが重要になっている。

〔基本方針〕

- ① 生活排水処理施設は村内全域を合併処理浄化槽において整備する。
 - ② 単独処理浄化槽を設置して世帯については、合併処理浄化槽への転換の指導を行う。
- 〔基本計画〕
- ① 戸別合併処理浄化槽を設置し処理する。
 - ② 生活雑排水の処理を進めるため、単独処理浄化槽の維持管理の指導を強化するとともに、極力合併処理浄化槽への転換指導を行う。

第五節 火葬場

〔現況と課題〕

本村の集落有の火葬場は、種々原を竹沢火葬場の二ヶ所である。現在は小千谷市の火葬場も利用できるようになっており、今後は小千谷市の火葬場への利用が多くなるものと予想される。

〔基本方針〕

- ① 火葬場の広域利用の確立を図る。

第六節 公害

〔現況と課題〕

本村には公害の発生企業は少なく、公害発生の届出はないが、生活雑排水による河川等の水質汚濁は進行している。先に述べた特定地域生活排水処理事業を促進して、自然を守る体制を強化するとともに、公害防止の事前対策にも配慮する必要がある。

〔基本方針〕

- ① 公害発生源に対する意識の啓発と監視体制の強化により公害の未然防止に努める。
 - ② 新規開発等による企業進出に対し、事前に公害防止協定を締結して安全な生活環境の確保を図る。
- 〔基本計画〕
- ① 生活雑排水処理施設の整備を促進し、河川等の水質汚濁

防止に努める。

② 合併処理浄化槽の維持管理及び畜舎の適正管理を指導し、また、新規開発の企業に対して、公害防止協定を締結し、公害の未然防止に努める。

第七節 交通安全

〔現況と課題〕

道路交通網は、この三十年間飛躍的に整備され、除雪体制も整っているが、生活行動範囲の拡大に伴い自動車は生活必需品となり、自動車保有台数、運転免許所持人口も増加している。これに伴い交通事故が増加している。幸いにも、村内の交通事故は昭和五十二年以来ゼロを重ねている。しかし、運転者の安全教育等を推進するとともに、交通安全施設の整備を協力に推進しなければならない。

〔基本方針〕

- ① 交通安全を確保するため、施設整備や村民総ぐるみの交通安全運動を推進する。
 - ② 安全運転の確保のため、運転者の資質の向上を図る。
- 〔基本計画〕
- ① ガードレール等交通安全施設の整備を促進する。
 - ② 学校・家庭・職場等による安全教育の推進と広報活動等による、意識の高揚を図る。

若い力で ゴー・ゴ・ゴー

九月九日(日)に、山古志中学校の大運動会が開催されました。全校生徒が紅白に分かれて、競技の部、応援の部、マスコットの部で優勝目指して熱戦が繰り広げられました。



当日は、真夏を思わせるような暑さになりましたが、生徒達はそんな暑さを吹き飛ばすように、競技に、応援に精一杯の力を発揮していました。
また、来賓や父兄の参加する競技もあり、こちらも熱戦が展開されました。



競技の部は紅軍、応援の部は紅軍、マスコットの部は白軍がそれぞれ優勝しました。
生徒の皆さん、大変お疲れさまでした。

総合優勝は 星野久市さんの紅白

九月二日(日)に青年部共催(山古志漁協青年部・小千谷市農協養鯉青年部)の田上がり品評会が役場前で開催され、星野久市さん(竹沢)の紅白が総合優勝に輝きました。
例年がない早い梅雨明けで、暑い日が続きましたが、順調に育った錦鯉七九〇尾が出品されました。



審査員が各桶を覗いて「体形・模様・色彩」などを審査し、各賞を決定していました。
お楽しみ抽選会も行われ、大変盛り上がりました。
なお、上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 総合優勝一席 紅白 星野 久市(竹沢)
 - 総合優勝二席 大正三色 石原 平治(虫亀)
 - 総合優勝三席 昭和三色 長島 弘(虫亀)
- (品種別優勝)
- 紅白の部 斎藤 広栄
 - 大正三色の部 斎藤 広栄
 - 昭和・写りの部 佐藤 啓一
 - 変わりものの部 平沢 啓一
 - 光りものの部 平沢 勇
 - 金銀鱗の部 磯 新
 - ドイツ鯉の部 平沢 秀公

第二十回山古志村 老人クラブ連合会 ゲートボール大会

八月二十八日(火)に山古志中学校グラウンドで、第二十回山古志村老人クラブ連合会のゲートボール大会が行われました。
結果は次のとおりです。
優勝 竹沢チーム



準優勝 城山四チーム
第三位 城山五チーム

県大会の結果

八月二十六日(日)に上越市総合体育館他で、第二十一回新潟県スポーツ少年団総合体育大会・パドミントン大会が開催されました。

◆小学生女子の部

- 団体戦
 - 一回戦：シード
 - 山古志 1-2 佐和田町
 - スポ少
 - 二回戦
 - 山古志 1-2 佐和田町
 - スポ少
- 一回戦
 - 小幡 2-1 坂上
 - 坂牧 金子
- 二回戦
 - 小幡 1-2 重山
 - 坂牧 伊藤

◆中学生女子の部

- 団体戦
 - 一回戦：シード
 - 山古志 1-2 佐和田町
 - スポ少
 - 二回戦
 - 山古志 1-2 佐和田町
 - スポ少
- 一回戦
 - 谷延 0-2 江村
 - 小池 高橋

生涯学習・生涯スポーツ 村民体育館コナール

以上のような結果でした。会場が蒸暑く、選手には非常に厳しい条件での試合でしたが、全員が最後まであきらめることなく、プレーしてきました。大変お疲れ様でした。

十一月三日(祝)
山古志村民会館にて開催

村民文化展

合同文化祭・音楽交歓会

小・中学校の連携と一貫教育を一層推進するという考えのもとに、今年度から二校合同で文化祭を開催することになりました。併せて、恒例の音楽交歓会を同日開催します。

- 初めの試みですので、村民の皆さん、ぜひともご来場下さい。
- ★期日 十月二十一日(日)
- ★時間 午前九時から午後四時
- ★会場 山古志 1-2 佐和田町
- ★音楽交歓会 午後一時半から四時

★会場

- 合同文化祭 山古志村民会館
- 音楽交歓会 山古志村民体育館

音楽鑑賞教室のご案内

長岡地域広域市町村圏文化振興部会では、郷土の民話を題材にしたオペラ「みるなの座敷」を生で鑑賞して、体験してもらう機会を圏域住民に提供するために、次のとおり開催されますので、ご参加下さい。

- 日時 十一月十五日(木) 午後一時半から
- 会場 長岡市立劇場大ホール
- 募集人員 二十名(先着順)
- 参加申込、お問い合わせは、教育委員会(☎59-23339)まで、ご連絡下さい。

準優勝・星野さん

八月二十九日(水)に寺泊町で行われた三島郡・古志郡老人クラブ連合会囲碁・将棋大会で星野欣一さん(間内平)が、囲碁の部で昨年に続き、見事準優勝に輝きました。

小学校で稲刈り

小学校の学校田で稲刈りが行われました。
老人クラブの方々から指導を受けて、五・六年生が中心になって、春から米づくりをしてきました。田植えや田の草取りなどをして立派に育ったお米の収穫ということで、児童たちは楽しそうに、時には真剣な眼差しで稲刈りをしていました。(表紙の写真を参照)

「足が抜けな〜い。」など悪戦苦闘をしていましたが、中には家のお手伝いで経験している大人顔負けの手付きで稲刈りをしている児童もいました。
この日収穫された「こしひかり」は、後で収穫祭を行って、

信濃川Eボート 交流会

九月八日(土)に長岡市妙見の信濃川河川敷で、Eボート交流会があり、村長をキャプテンとして、役員チームが参加しました。この信濃川Eボート交流会は、川下りの部、体験教室の部、そしてタイムトライアルの部の三部構成になっており、役員チームはタイムトライアルの部に出場しました。



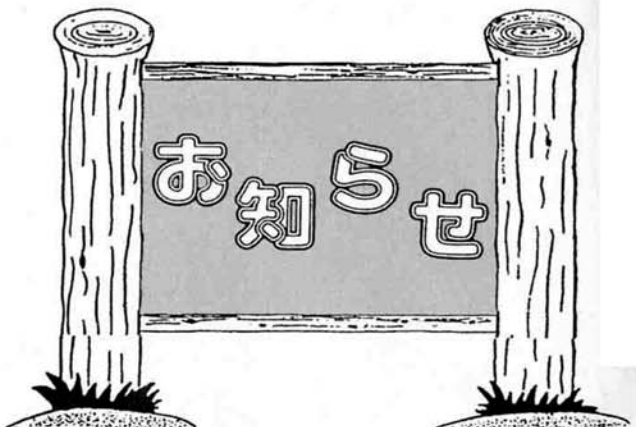
結果は参加二十チーム中、七位でしたが、ハプニングもあり「特別賞」を受賞しました。
このEボートは組み立て式で非常に簡単に作り易く、誰でも乗れるものです。来年もあるようなので、広報等でPRします。ぜひ大勢の方から参加をお願いします。

「四季の山古志」 写真コンテスト 締め切りせまる

今年で、十四回を迎える「四季の山古志」写真コンテストの作品を募集しています。

- ◎締切日 十月十日(必着厳守)
- ◎応募サイズ カラープリント 四つ切り
- ◎応募先 〒940-0084 長岡市幸町一-1-11 毎日新聞新潟支局 「四季の山古志」写真コンテスト係宛

なお、入選作品は十一月三日に山古志村民会館で展示されます。
お問い合わせは役場産業課までお願いします。
☎59-23331



産葉まつり
十一月三日(祝)
山古志村役場前にて開催

第四十回山古志 錦鯉総合品評会

期日 十月二十一日(日)
会場 錦鯉総合センター
受付 午前八時から十時まで
出品料 (一点につき)
一五部から三〇部 五〇〇円
四〇部から七〇超部 一、〇〇〇円
村民の皆さんの多数の出品を
お待ちしております。

合同相談所の開設

行政相談
国民年金相談
心配ごと相談
行政相談週間(十月十五日、二十一日)にあたり、村では合同相談所を開設します。
合同相談所では、畔上守二行政相談員、長岡社会保険事務所国民年金担当者、民生委員が専門分野で相談をお受けします。
行政に対する苦情や意見、国民年金に関する相談や心配ごとなどがありましたらお気軽にお出で下さい。相談は無料で秘密はかたく守られます。
日時・場所
十月十七日(水)
午前九時から十一時三十分
山古志村民会館談話室

課程 五十名(二年間)
マルチメディアコース(普通課程) 五十名(二年間)
OAビジネス課(短期) 十名(一年間)
OA秘書課(短期) 十名(一年間)
情報処理技術研究科(短期) 五名(一年間)
入学願書受付
平成十四年三月二十九日まで

▼入学選考日
・十月七日(日)
・十一月四日(日)
・十二月二日(日)
・一月二十七日(日)
・二月二十四日(日)
・三月十一日(日)
・三月二十二日(金)
・三月二十九日(金)
▼資料請求先
信濃川テクノ・アカデミー
〒947-0026
小千谷市上ノ山四一四―二
☎0120-405070

長岡・小千谷地区
合同就職面接会の開催について
平成十四年三月新規卒業予定者及び一般求職者を対象とした

就職面接会を次のとおり開催します。

■日時
十一月十四日(水)午後一時三十分から四時
■会場
・ハイブ長岡
・お問い合わせ
・ハローワーク長岡 ☎32-1181内線41-42

長岡広域振興イベントのご案内

この事業は、長岡圏域十三市町村を順に、広域的なまちづくりを考へることを目的に実施しています。本年度は和島村で次のとおり開催します。
●日時
十月二十八日(日)午後十二時三十分から
●会場
・和島村農村勤労福祉センター
●内容
・講演会・製作実演等
※入場無料
●お問い合わせ
・長岡地域振興イベント実行委員会(和島村役場企画観光課内) ☎74-3111

闘牛素牛 導入者の募集

村では、国の重要無形民俗文化財指定「牛の角突き」を振興し、地域の活性化を一層図りたいとの願いから素牛購入費の半額補助を行います。昨年導入された牛の中には、本年から角突きに出場している牛もいます。購入を希望される方は十月十日(水)までに役場産業課(☎59-2331)に申込下さい。
なお、補助の内容等は次のとおりです。
一 補助対象者は、山古志村の住民に限りません。
二 補助金は、素牛購入費の二分の一とし、一頭当たり十五万円が限度です。
三 原則として、当歳牛の導入に限りません。
四 過去三年間、この補助金を受けていない者。
五 本年度の該当は四名です。ただし、申込者が多数の場合は抽選をします。

「転ばぬ先のつえ」

高齢者の転倒予防教室
八月二十日から各地域のいきいき会(十会場)とリハビリ教室(にこにこ会)の参加者、ポランテアを対象に転倒予防教室を実施しました。
転倒を引き起こす要因には様々なものがあります。そこで今回は、身体面に関したものを紹介します。

①握力や開眼片足立ち(目を開いた状態で、片足で立つ)で筋力・平衡感覚が年齢相応なのか測定する。
②毎日使っているけど、普段あまり気にとめない足指の体操をする。(図1・写真1参照)
③全身をほぐすストレッチ体操をする。(図2・写真2参照)
老化により身体機能、特に下半身の機能や平衡感覚が衰えることが転倒の主な要因です。そこで、握力から全身の筋力を、片足立ちで平衡感覚と下半身の筋力をみました。(五十歳代の握力・男性四三kg、女性二五kg、片足立ちは三〇秒)

足指の体操

足指の曲げ伸ばし
足の裏と足の反対の手の平を合わせ押したり引いたりする

タオルたぐりよせ
かかとを床から離さずに足首、足指を使ってたぐりよせる



また、足指による地面をつかむ力はつまずきやよろけた時に身体バランスを保つ上で重要になります。
いきいき会やにこにこ会の参加者からは、「足が温まった。」などの感想が聞かれ、皆さん普段から体操をしたり、歩いたり健康づくりに取り組んでいることがわかりました。
高齢者の転倒は骨折や閉じこもり等、心身に様々な障害を招く原因になります。また、こうした障害がもとで身体活動が減ってしまうと、寝たきりや痴呆につながる恐れもあり、高齢

ストレッチ体操

背中伸ばし
反動をつけないで、ゆっくりと20秒伸ばします

踵ひねり

者の生活を守る上で転倒予防はとても大切です。
転ばぬ先の杖、皆さんの足指は自由自在に動きますか? 足指でグー・チョコキ・パーができますか?
これから、秋の収穫等で忙しい季節になりますが、転倒には充分気をつけて下さい。

ポケットに手を入れて歩かない

